

製品名: ARL2BP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87358**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:19 kDa; Observed MW:19 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------|
| 遺伝子名 | ARL2BP |
| 別名 | BART; RP66; BART1 |
| 遺伝子 ID | 23568 |
| SwissProt ID | Q9Y2Y0 |
| 免疫原 | ヒト ARL2BP の組み換えタンパク質 |

背景

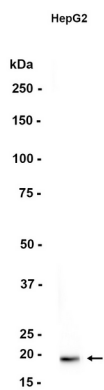
ADP リボシル化因子 (ARF) 様タンパク質 (ARL) は、RAS 関連 GTPase の ARF ファミリーにおいて、機能的に異なるグループを構

成します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ARL2.GTP に高い親和性で結合しますが、ARL2.GDP、活性化 ARF、または RHO タンパク質とは相互作用しません。ARL2 が活性化された際に、このタンパク質または ARL2 の膜結合が検出されないことは、ARF とは異なる作用を示唆しています。このタンパク質は、ARL2.GTP と相互作用する一方で、ARL2 GTPase 活性化タンパク質活性を示さないことから、初めて同定された ARL2 特異的エフェクターと考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



ARL2BP ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。